



**NEW AIR, ON AIR.**

 **tv asahi**

第70期 報告書

平成21年4月1日 ▶ 平成22年3月31日

証券コード：9409

## ごあいさつ

皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。第70期の報告書をお届けするにあたり、皆様の日頃のご支援に、心から御礼申し上げます。

当社では、大幅な減収減益となった前期の結果を受け、平成21年4月から平成23年3月末までの2年間で「改革断行期間」と位置付けました。環境の変化に対応し、将来にわたって成長可能な、スリムで強靱な企業づくりを目指して、全社一丸となって邁進しております。

テレビ広告市場が引き続き厳しい状況で推移するなか、当期は番組制作費・経費などの徹底的な削減に取り組みました。テレビ局にとって最大の財産であるコンテンツの基とな

る番組制作費ではありますが、当期は前期比で146億円の大規模な削減を行ないました。そのようななかでも制作現場の工夫と努力によって視聴率の競争力を保持できたことは当期の大きな成果だと考えています。

また、費用の削減と同時に、コンテンツを軸とした収益機会の拡大にも積極的に取り組んでまいりました。

新たなスポンサーニーズを掘り起こし増収に繋げるべく、編成制作部門と営業・コンテンツビジネス・事業などの収益部門がこれまでよりも密接に連携できる体制を整えました。

また、放送外においても、人気バラエティー番組「アメトーク」のDVDの大ヒットや、朝日新聞社、KDDIとの協業による携帯電話向け総合情報配信サービス「EZニュースEX」が順調に会員数を伸ばすなど、コンテンツの多メディア展開も着実に拡がりを見せています。

改革断行期間2年目にあたる第71期も、引き続き、収益機会の拡大に向けた積極的な取り組みと、徹底したコストコントロールに努め、2期連続の増益を見込んでいます。

今後もお客様に愛されるコンテンツを数多く生み出し、業績拡大による株主価値の向上を目指して努力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

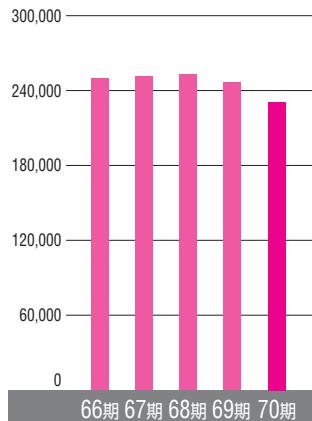
平成22年6月  
代表取締役社長

早河 祥



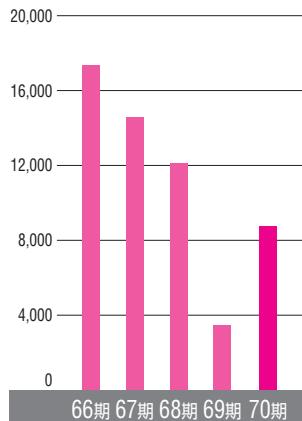
## 売上高

(単位: 百万円)

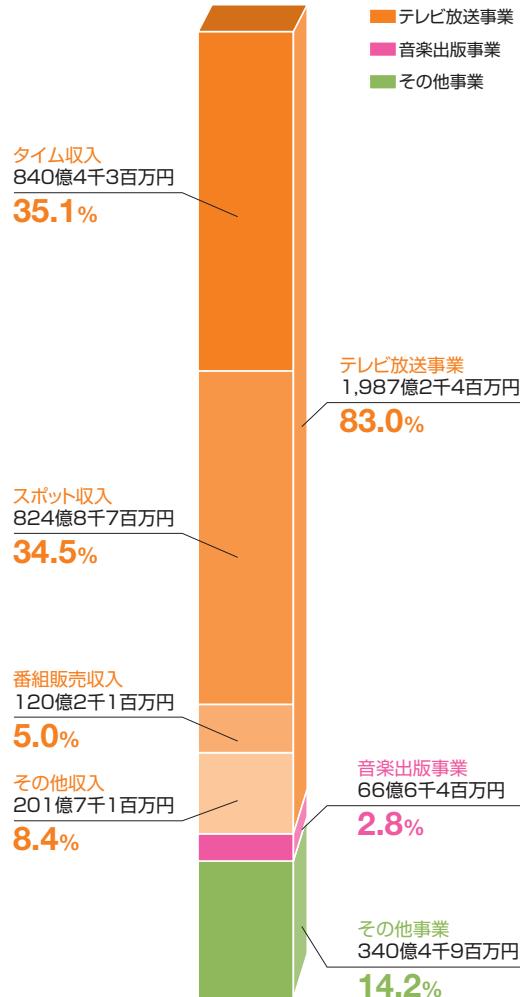


## 経常利益

(単位: 百万円)

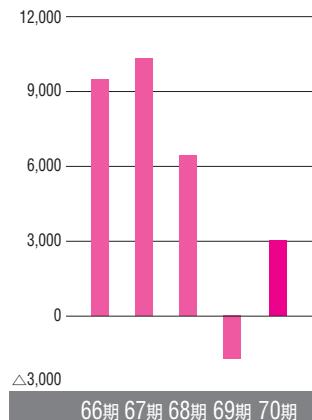


## 事業別売上構成比



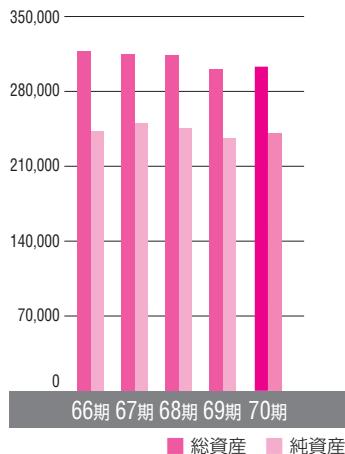
## 当期純利益

(単位: 百万円)



## 総資産/純資産

(単位: 百万円)



■ 総資産 ■ 純資産



## テレビ放送事業

(単位：百万円)

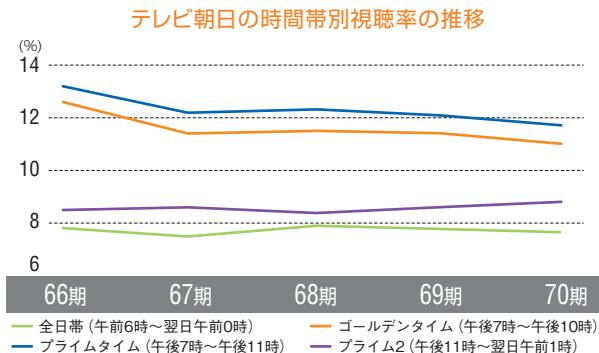
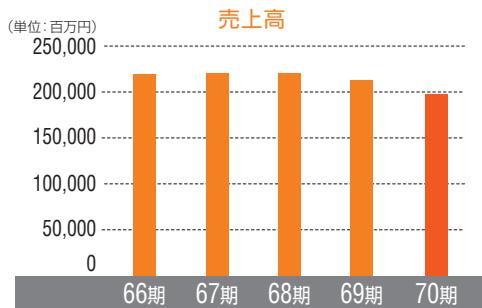
	69期	70期	前期比	
売上高	213,875	198,724	△ 15,151	△ 7.1%
タイム収入	96,129	84,043	△ 12,085	△ 12.6%
スポット収入	86,026	82,487	△ 3,538	△ 4.1%
番組販売収入	12,195	12,021	△ 173	△ 1.4%
その他収入	19,525	20,171	646	3.3%
営業利益	△ 1,959	3,276	5,235	—

### 【タイム収入】

スポンサーの固定費削減傾向がさらに強まったため、レギュラー番組のセールスがかつてないほどの苦戦を強いられ、前期を大きく下回る結果となりました。一方、単発番組でも、「フィギュアスケートグランプリシリーズ」や「バンクーバーオリンピック2010」「世界水泳ローマ2009」があったものの、前年度の「北京オリンピック2008」や「'09 WORLD BASEBALL CLASSIC™」、開局50周年記念番組などの反動減により、減収となりました。

### 【スポット収入】

前期から続いたスポンサーのコスト削減傾向によって、上半期は前年同期比で大きく落ち込んだものの、企業業績が回復するにつれて市況が持ち直し、下半期は前年同期比でプラスに転じました。業種別では、「食品・飲料」「卸売」「基礎材」「薬品」が好調に推移した反面、その他の業種は全て減収となり、とりわけ「電気機器」「輸送機器」「住宅・建材」「サービス・娯楽」が大幅に低迷しました。



※ 視聴率データは、いずれもビデオリサーチ調べ



「アメトーク」

### 視聴率

当期の視聴率は、全日帯（午前6時～翌日午前0時）7.7%、プライムタイム（午後7時～午後11時）11.7%、ゴールデンタイム（午後7時～午後10時）11.0%、プライム2（午後11時～翌日午前1時）8.8%となりました。とりわけプライム2は5年連続の1位で、8.8%は平成9年の設定以来最高の数字を記録しました。

9月には、総選挙後の政治ニュースへの関心から「報道ステーション」をはじめとしたベルト番組や「ビートたけしのTVタックル」が好調に推移し、「2010FIFAワールドカップ™国際強化試合 日本×オランダ」などの単発番組が高視聴率をマークしたことなどにより、全日平均視聴率が8.3%となり、開局以来初の月間1位となりました。また、正月三が日には「相棒 元日スペシャル」を筆頭に「とんねるずのスポーツ王は俺だ!!」などで高視聴率を獲得し、2年連続ゴールデンタイム、プライムタイムでトップを飾りました。



「報道ステーション」



「いきなり!黄金伝説。」

### 【バラエティー系】

「クイズプレゼンバラエティーQさま!!」「いきなり!黄金伝説。」などのレギュラー番組で高視聴率を記録、月～木曜夜11時台のネオバラ枠も平均視聴率11～12%台をキープし、引き続き若い世代の高い支持を得ています。単発番組



【刑事一代】



【池上彰の学べるニュース】



【臨場】

では、「もしものシミュレーションバラエティー お試しっ！」「池上彰の学べるニュース」がゴールデンタイムのスペシャルで高視聴率を獲得しました。

## 【映画・ドラマ】

8シーズン目を迎えた「相棒」が引き続き高い支持を得て平均視聴率17.9%を獲得したほか、「臨場」、木曜ミステリー「科捜研の女」などが高い評価を得ました。また、2夜連続で放送したドラマスペシャル「刑事一代」が19.4%、21.6%と高視聴率を獲得、日曜洋画劇場「レッドクリフ PART1」もPART2の劇場公開に合わせた編成により19.9%を記録しました。

## 【スポーツ】

「2010FIFAワールドカップ™ アジア地区最終予選」3試合を地上波独占放送し、ウズベキスタン×日本の24.4%をはじめ、いずれも高視聴率を記録しました。また、フィギュ



【相棒】



「世界フィギュアスケート  
国別対抗戦2009」



「ワイド!スクランブル」



「2010FIFAワールドカップ™ アジア地区最終予選」

アスケートでは、「グランプリファイナル 男女フリー」で21.8%を記録したほか、初開催の「世界フィギュアスケート国別対抗戦2009」を放送し、高い注目を浴びました。

### 【報道情報】

「報道ステーション」が引き続き安定しているほか、「スーパーJチャンネル」「スーパーモーニング」「ワイド!スクランブル」などのベルト番組も視聴者からの厚い信頼を得ています。

### 平成22年4月以降の編成方針

平成22年4月改編では、最適枠への枠移動、強力なドラマの投入など、更なる編成の強化に取り組みました。

バラエティー系は、人気番組「もしものシミュレーションバラエティー お試しっ!」(月曜夜7時)がゴールデンタイム

に登場。大ヒット企画「人気メニューベスト10全部当てるまで帰れま10(テン)」に注目です。また、「池上彰の学べるニュース」(水曜夜8時)もついにレギュラー化いたしました。そうだったのかと、まさに目からウロコのニュース解説は必見です。

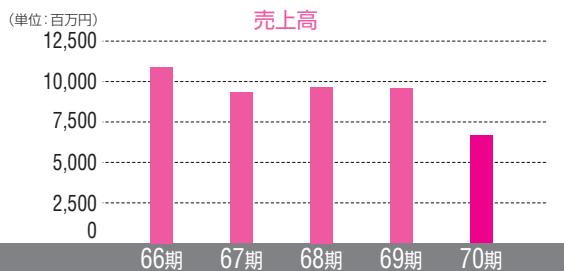
ドラマでは、内野聖陽主演の「臨場」(水曜夜9時)、渡瀬恒彦主演の「おみやさん」(木曜夜8時)といった人気シリーズのほか、豪華キャストでおくるラブ・ミステリー「同窓会」(木曜夜9時)、沢村一樹主演のヒューマンサスペンスドラマ「警視庁失踪人捜査課」(金曜夜9時)など見てたえあるドラマを編成いたしました。

また、スポーツでは恒例の「全米オープンゴルフ」「全英オープンゴルフ」に加えて、国民的大イベント「2010 FIFAワールドカップ 南アフリカ」では、日本中が注目する日本×オランダを放送。「スポーツのテレ朝」をさらにアピールしてまいります。

## 音楽出版事業

(単位：百万円)

	69期	70期	前期比	
売上高	9,565	6,664	△ 2,901	△30.3%
営業利益	1,541	664	△ 877	△56.9%



音楽著作権・著作隣接権の管理事業は、“湘南乃風”のアルバム「JOKER」やDVDのリリース、蓄積した管理楽曲の再開発などに積極的に取り組んだものの、音楽業界全体にわたる不振の影響を受け、大幅な減収となりました。

また、音楽コンテンツ事業につきましても、自社レーベルで“HY”のアルバム「Whistle」のリリースや、“湘南乃風”の全国ツアーなどがあったものの、前期に比べて減収となりました。



湘南乃風「JOKER」



HY「Whistle」

## その他事業

(単位：百万円)

	69期	70期	前期比	
売上高	33,873	34,049	175	0.5%
営業利益	2,477	3,307	829	33.5%





「ちい散歩」



CSオリジナル「泉谷しげると翼なき野郎ども」



「映画ドラえもん のび太の人魚大海戦」

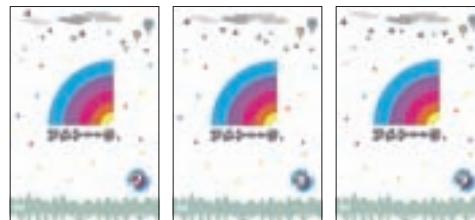
©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK 2010



「オンタマカーニバル2010」



「EZニュースEX」



DVD「アムテーク⑦⑧⑨」

#### ■ 出資映画事業

「レッドクリフ PART2」が大ヒットを記録したほか、「仮面ライダーディケイド オールライダー対大ショッカー」「ドラえもん」などの恒例作品が大変好調に推移しました。また、「BALLAD 名もなき恋のうた」「おとと」なども好評を博しました。

#### ■ イベント事業

記録的な入場者数となった「国宝 阿修羅展」、2年間のロングラン公演となった「ブルーマングロープ IN 東京」「ブロードウェイ・ミュージカル『ウエスト・サイド・ストーリー』」「徹子の部屋コンサート」「大つけ麺博」「オンタマカーニバル2010」をはじめ数々のイベントを開催いたしました。

#### ■ ビデオ・DVD化事業

「アムテーク」がシリーズでの累計出荷数が100万枚を突破したほか、「くりいむナントカ」「歌のおにいさん」「マイガール」などをリリースいたしました。

#### ■ ショッピング事業

「セレクションX」や「ちい散歩」内の通信販売コーナーを中心としたテレビショッピングやインターネットによる販売が堅調に推移いたしました。

#### ■ インターネット事業

「テレ朝コンプリート!」「テレ朝サウンド」などの携帯電話向け会員制有料情報サービスについては「ケータイ祭り」などのイベントや、「ロンドンハーツ」内企画の「50TA」のサウンド配信などで、放送連動コンテンツの更なる充実を図りました。

さらに、株式会社朝日新聞社、KDDI株式会社との協業による携帯電話向け総合情報配信サービス「EZニュースEX」が昨年6月にスタートし、順調に会員を増やしています。

#### ■ CS事業

CS放送「テレ朝チャンネル」も自主制作番組や話題作などを中心に編成し、加入者数も280万世帯を超え着実に増加しています。

# テレアサ の 現場

VOL.13

## 営業局 ネット営業部

営業局ネット営業部では、主にゴールデンタイム（午後7時～午後10時）に放送される全国ネット番組の提供セールスを行なっています。

提供セールスとは、「この番組は〇〇の提供でお送りします。」で馴染みの深い、いわゆる番組提供スポンサーを対象とする営業です。

スポンサー（広告主）は、提供する番組の中にCMを流すことによって、視聴者（消費者）に自社の商品やサービスを認知させ、購買行動の誘引を図ります。

全国ネット番組の提供スポンサーの多くは全国で事業を展開する日本の代表的な企業であり、ネット営業部員はそれぞれ担当のスポンサーを持って、日々、スポンサーのニーズに合う番組や新しい企画の提案などを行なっています。

1日24時間という限られた時間のなか、番組（時間）を商品としてセールスしている放送局は、他の企業のように商品（時間）を大量生産して売上を伸ばすことはできません。

売上を伸ばす道は、番組の価値を高めること、そして、その番組の価値・魅力をスポンサーに認めてもらうこと以外にないのです。

長引く不況や四半期決算義務化などの影響もあり、スポンサー側の広告出稿に対して費用対効果を重視する姿勢はますます強まっています。そのような環境のなかで、ここ数年はインターネット広告の躍進



が目立ちましたが、最近ではテレビ広告とインターネット広告の棲み分けも進み、ブランディングの柱としてテレビ広告の価値を再認識するスポンサーも増えています。

2011年のデジタル放送への完全移行や国内市場の変化、そして次々に登場する新たなメディアへの対応など、当社が直面している課題は数多くあります。

しかし、いくら環境が変化しても、テレビには他のメディアにはない不変の力があります。

- ・ 全国の家庭に普及し、スイッチONで誰でも気軽に楽しめて、子供から大人まで様々な階層に伝えることができる“リーチ力”
- ・ 同時性、即時性を持ち、大多数が放送内容を共有できるので、メジャー感の醸成や流行・話題を作ることができる“ムーブメント力”
- ・ そして何よりも、50年以上にわたって培ってきた番組制作能力“クリエイティブ力”

このテレビならではのチカラを今後も積極的にスポンサーにアピールしていきます。そして、テレビ朝日が主役となって時代の元気を生み出し、国内の市場が活性化することを願っています。

談

佐野 貴英

営業局ネット営業部



ネット営業部での仕事で常に心掛けていることは“信頼を裏切らない”ということです。

テレビ広告収入は景気などの外的要因に左右

されやすい部分はあるものの、地道な努力と誠実な姿勢なしには、大きな実を結ぶことはありません。

長い時間をかけ、信頼と信用をひとつずつ積み重ねて作ったスポンサーとの太い絆が大きな成果に繋がるのだと考えて仕事をしています。

リーマンショック以降、テレビ広告市場は大きなダメージを受けましたが、長年培ってきたスポンサーとの信頼関係には影響はありませんでした。

先輩から引き継いだスポンサーとの関係をさらに強固なものにして、また次の担当者へと引き継ぐ。そのリレーによって、各営業マンの力を“テレビ朝日の力”とし、“テレビ朝日の資産”として受け継いでいくことが大事だと思っています。

制作現場の頑張りで各番組の視聴率が伸びています。スポンサーや広告会社などからも「テレビ朝日は最近元気がいいね。」との言葉をいただくようになりました。

我々営業部門も上位局に追いつき追い越せという気概で一丸となって頑張っております。

## 経営成績

当期の日本経済は、輸出がアジア向けを中心に増加し、企業収益が改善するなど持ち直しの動きがみられましたが、失業率が高い水準で推移するなど厳しい状況が続きました。

広告業界におきましては、東京地区のスポット広告の出稿量は減少幅を徐々に縮め、第4四半期には前年同期実績を上回りましたが、タイム広告は厳しい状況が続きました。

このような経済状況のなか、当社グループは、テレビ放送事業はもとより、音楽出版事業やその他事業での収益確保に努め、当期の売上高は2,302億3千6百万円（前期比6.9%減）となり、営業費用は2,230億1千9百万円（同9.0%減）となりました結果、営業利益は72億1千6百万円（同258.1%増）となりました。

また、経常利益は87億4千4百万円（同153.8%増）となり、当社において、特別損失に投資有価証券評価損を計上したことなどにより、当期純利益は30億2千4百万円となりました。

## 財政状態

当期末の総資産は、前期末比29億4千9百万円増の3,032億6千1百万円、自己資本比率は77.4%となりました。

## キャッシュ・フローの状況

当期末における現金及び現金同等物は、前期末比130億1千4百万円増加し、573億5千7百万円となりました。

### ■営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、233億2千6百万円の収入となり、前期に比べ69億2千8百万円増加いた

しました。増加の主な要因は、税金等調整前当期純利益が前期に比べて58億4千5百万円増加したことなどでありませ

### ■投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより71億7千4百万円の支出となり、前期に比べ230億3千1百万円減少いたしました。減少の主な要因は、投資有価証券の取得による支出が前期に比べて246億7千6百万円減少したことなどでありませ

### ■財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、31億4千1百万円の支出となり、前期に比べ9千7百万円増加いたしました。

## 次期の見通し

次期につきましては、当社グループの売上高に大きな影響をおよぼすテレビ広告市場は、引き続き不透明な状況が続くものと想定されます。

通期の連結業績につきましては、当社グループは、テレビ広告収入拡大に向けた取り組みを行なうほか、音楽出版事業、その他事業についても収益拡大に継続的に注力することにより、売上高は増収を図ることといたします。

また、営業費用は、引き続きコストコントロールを行なうため、営業利益、経常利益、当期純利益は、いずれも増益となる見込みであります。

## 連結貸借対照表

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	当 期	前 期
	平成22年3月31日現在	平成21年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	138,497	132,500
固定資産	164,763	167,810
有形固定資産	66,136	69,544
無形固定資産	6,754	5,634
投資その他の資産	91,872	92,631
資産合計	303,261	300,311
(負債の部)		
流動負債	48,330	49,490
固定負債	15,034	14,669
負債合計	63,365	64,160
(純資産の部)		
株主資本	234,400	234,393
資本金	36,642	36,642
資本剰余金	55,342	55,342
利益剰余金	142,736	142,729
自己株式	△ 321	△ 321
評価・換算差額等	385	△ 2,460
その他有価証券評価差額金	516	△ 2,293
繰延ヘッジ損益	—	△ 23
為替換算調整勘定	△ 130	△ 143
少数株主持分	5,109	4,217
純資産合計	239,895	236,150
負債純資産合計	303,261	300,311

## 連結株主資本等変動計算書

当期

自 平成21年4月1日  
至 平成22年3月31日

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成21年3月31日残高	36,642	55,342	142,729	△ 321	234,393	△ 2,293	△ 23	△ 143	△ 2,460	4,217	236,150
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 3,018		△ 3,018						△ 3,018
当期純利益			3,024		3,024						3,024
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						2,810	23	12	2,846	891	3,738
連結会計年度中の変動額合計	—	—	6	—	6	2,810	23	12	2,846	891	3,744
平成22年3月31日残高	36,642	55,342	142,736	△ 321	234,400	516	—	△ 130	385	5,109	239,895

## 連結損益計算書

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	当 期	前 期
	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日
売上高	230,236	247,192
売上原価	170,905	188,343
売上総利益	59,331	58,849
販売費及び一般管理費	52,114	56,834
営業利益	7,216	2,015
営業外収益	2,110	1,954
営業外費用	582	524
経常利益	8,744	3,444
特別利益	122	—
特別損失	2,434	2,858
税金等調整前当期純利益	6,432	586
法人税、住民税及び事業税	1,526	1,763
法人税等調整額	1,286	△ 45
少数株主利益	594	584
当期純利益又は当期純損失(△)	3,024	△ 1,716

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	当 期	前 期
	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,326	16,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,174	△ 30,205
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,141	△ 3,044
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	△ 156
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	13,014	△ 17,008
現金及び現金同等物の期首残高	44,343	61,351
現金及び現金同等物の期末残高	57,357	44,343

(単位：百万円、百万円未満切捨)

**会社の概要** (平成22年3月31日現在)

商号	株式会社 テレビ朝日 TV Asahi Corporation
設立	昭和32年11月1日
放送開始	昭和34年2月1日
資本金	366億4,280万円
本店所在地	〒106-8001 東京都港区六本木六丁目9番1号
従業員数	1,214名
当社の事業所等	本社（東京都） アーク放送センター（東京都） 送信所・中継局（東京都ほか） ：BS（コロンブス）（東京都）

**役員** (平成22年6月29日現在)

代表取締役会長	君和田正夫	取締役	角南 源五
代表取締役社長	早河 洋	取締役	中島 俊明
専務取締役	神山 郁雄	取締役	藤ノ木正哉
常務取締役	高野 圭司	取締役	秋山耿太郎
常務取締役	北澤 晴樹	取締役	荒木 高伸
取締役	堀越むつ子	取締役	岡田 剛
取締役	大塚 隆廣	取締役	北島 義俊
取締役	上松 道夫	取締役	武内 健二
取締役	金澤 一	取締役	渡辺 克信
取締役	龜山 慶二		

常勤監査役	有倉 幸生	監査役	奥村萬壽雄
常勤監査役	浅野 正夫	監査役	小林 孝一
監査役	荻谷 忠男		

- (注) 1. 取締役秋山耿太郎、荒木高伸、岡田 剛、北島義俊、武内健二および渡辺克信の各氏は、社外取締役であります。
2. 監査役荻谷忠男、奥村萬壽雄および小林孝一の各氏は、社外監査役であります。

**関係会社の概要** (平成22年3月31日現在)

- テレビ放送事業**
- 番組制作関連業務**  
連結子会社  
(株)エル・エス・ディー  
シンエイ動画(株)  
(株)テイクシステムズ  
テレビ朝日映像(株)  
(株)テレビ朝日クリエイト  
(株)トラストネットワーク  
(株)日本ケーブルテレビジョン  
(株)ビデオ・バック・ニッポン  
(株)フレックス  
(株)放送技術社  
(株)JCTV-HQ  
TV Asahi America, Inc.  
持分法適用関連会社  
(株)文化工房  
(株)メディアミックス・ジャパン  
関連会社  
(株)東北朝日プロダクション  
(株)琉球トラスト  
その他の関係会社  
東映(株)
- BS・CSデジタル放送**  
持分法適用関連会社  
(株)ビーエス朝日  
(株)シーエス・ワンテン
- 文字放送、字幕制作・運用**  
連結子会社  
(株)テレビ朝日データビジョン
- WEB、デジタルデータコンテンツ制作・運用**  
連結子会社  
(株)テレビ朝日メディアブックス
- 音楽出版事業**  
連結子会社  
(株)テレビ朝日ミュージック  
NPPDEVELOP(株)  
持分法適用関連会社  
(株)ビーエス朝日サウンズ
- その他事業**
- ショッピング業務**  
連結子会社  
(株)テレビ朝日リビング
- 放送周辺業務**  
連結子会社  
(株)テレビ朝日サービス
- アナウンサー学校**  
連結子会社  
(株)テレビ朝日アスク
- 施設管理業務**  
連結子会社  
(株)テレビ朝日ベスト
- ブロードバンド向け配信業務**  
連結子会社  
プロスタTV合同会社
- アニメーション制作・販売**  
連結子会社  
シンエイ動画(株)  
持分法適用関連会社  
東映アニメーション(株)
- 日刊新聞発行等**  
その他の関係会社  
(株)朝日新聞社

**国内ネットワーク局** (平成22年3月31日現在)

ANN加盟局	北海道テレビ放送 (HTB)	名古屋テレビ放送 (メーテレ)
	青森朝日放送 (ABA)	朝日放送 (ABC)
	岩手朝日テレビ (IAT)	広島ホームテレビ (HOME)
	東日本放送 (KHB)	山口朝日放送 (yab)
	秋田朝日放送 (AAB)	瀬戸内海放送 (KSB)
	山形テレビ (YTS)	愛媛朝日テレビ (eat)
	福島放送 (KFB)	九州朝日放送 (KBC)
	テレビ朝日 (EX)	長崎文化放送 (NCC)
	新潟テレビ21 (UX)	熊本朝日放送 (KAB)
	長野朝日放送 (abn)	大分朝日放送 (OAB)
	静岡朝日テレビ (SATV)	テレビ宮崎 (UMK)
	北陸朝日放送 (HAB)	鹿児島放送 (KKB)
	福井放送 (FBC)	琉球朝日放送 (QAB)



**株式状況** (平成22年3月31日現在)

発行可能株式総数 3,000,000株	発行済株式の総数 1,006,000株	株主数 33,581名
<b>大株主 (上位10名)</b>		
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社朝日新聞社	248,649	24.72
東映株式会社	161,842	16.09
財団法人香雪美術館	50,300	5.00
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 大日本印刷口 再信託受託者 資産管理 サービス信託銀行株式会社	40,300	4.01
九州朝日放送株式会社	32,147	3.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	27,909	2.77
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	21,676	2.15
株式会社リクルート	21,000	2.09
財団法人朝日新聞文化財団	20,120	2.00
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	19,326	1.92

**株主メモ**

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月開催	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当	毎年3月31日
	中間配当	毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日	
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社	
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部	
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部	
(電話照会先)	☎0120-176-417	
(ホームページURL)	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>	
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 <a href="http://company.tv-asahi.co.jp/">http://company.tv-asahi.co.jp/</a> ただし、ホームページに掲載できない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する朝日新聞に掲載いたします。	
上場取引所	東京証券取引所	
外国人等の株主名簿 への記載または記録 の制限	放送法第52条の8に関連して、当社の定款には次の規定があります。 定款第8条 当社は、次の各号のいずれかに掲げる者から、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することの請求を受けた場合において、その請求に応ずることにより、次の各号に掲げる者の有する議決権の総数が、総株主の議決権の5分の1以上を占めることになるときは、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することを拒むものとする。 1. 日本の国籍を有しない人 2. 外国政府またはその代表者 3. 外国の法人または団体 4. 上記1.ないし3.の各号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体 ②当社は、法令の定めに従い、前項各号に掲げる者が有する株式について、株主名簿への記載もしくは記録の制限または議決権の制限を行うことができるものとする。	

**株主様向け「ショッピング事業対象商品の特別ご提供」のご案内**

当社では、株主様を対象に、厳選いたしましたショッピング事業対象商品を特別価格でご提供しております。同封のパンフレットに記載の専用ホームページもご覧いただき、ご希望の商品がございましたら、パンフレットまたは専用ホームページ記載の「株主様専用のご注文フリーダイヤル」にお電話ください。

※ホームページでは、パンフレット掲載商品の内容をさらに詳しくご紹介しております。

ホームページの商品説明を印刷して、お手許にお送りすることもできますので、下記お問合せ専用フリーダイヤルにお気軽にお電話ください。

●**お問合せ先** (ご注文は、同封のパンフレットまたは専用ホームページ記載の「株主様専用のご注文フリーダイヤル」にお願いいたします。)

株式会社テレビ朝日 株主様ご優待

お問合せ専用  
フリーダイヤル **0120-532510** [10時~18時 日・祝を除く]